



平成21年8月31日 阿戸町連合町内会発行

メールアドレス/atochounaikai-info@hyper.ocn.ne.jp
ホームページアドレス/www.com-net.city.hiroshima.jp/ato

子育て支援・学校問題 についての取り組み



阿戸町の人口は近年減少しており、平成十八年四月は、二、五五九人であったものが、三年後の平成二十一年四月現在で、二、三八六人となり一七三人の減少となっております。

また、就学前児童数(〇歳～五歳児数は通年より半数程度となっており、少子化が進んでおります。

高齢者対策は一定の成果をあげているものの、少子化の対応は十分とはいえず、人口減がこのまま続き、何ら手を尽くさなければ、阿戸町は衰退の一途を辿るのみと考えます。

バス路線の廃止、幼稚園の廃止、小中学校の廃止等々 他地域の例を見るにつけ、阿戸町は例外であるという保証は全くござ

いません。

阿戸町においても、例えば利用者が減少することにより、農協エコープの撤退とか、広電バス・芸陽バスの廃止・縮小なども想定され、また、幼稚園、小中学校の統廃合等も懸念され、日常の生活や教育への影響は大きく、地域にとって危機的な状況になることは必至であります。

既に、広島市におかれては、保育園や幼稚園のあり方についての検討が行われており、また、小中学校については「広島市立学校適正配置計画」が今年度策定の予定であると同っております。

阿戸町を活性化させるためにも、また、若者のいないまちに未来はなく若い世代の定住につながるためにも、子育てをしやすい環境の整備や幼稚園・保育園の一体化に向けた取り組み、小中一貫教育校に向けた特色づくりなど、地域を挙げて積極的に取り組んでいかなければならないと考えます。

このため、平成二十一年五月、阿戸まちづくり推進委員・学校関係・子育て支援グループ等 合計二十名で勉強会を立ち上げました。

平成二十一年六月には、阿戸まちづくり推進委員会(委員三十一名)を開催、勉強会の結果を踏まえ、次の四つの項目について検討することといたしました。

- 1 遊び場の確保(広場・公園等の整備)
- 2 保育園での乳幼児(三歳未満児)の保育
- 3 認定こども園 認可に向けた検討
- 4 小中一貫教育校の検討(特色ある学校づくり)

平成二十一年七月には、「安芸区長を囲む会」(四十七名出席)において、これら四項目を要望したところです。

今後、これらの課題について地域が一丸となって取り組んでいかなければならないと考えておりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※認定こども園とは

幼稚園や保育園等のうち

- ① 保育に欠ける子ども、欠けない子どもも受け入れて、教育・保育を一体的に実施する機能
- ② 地域における子育て支援を行う機能を備えた施設として、県知事の認定を受けたもの



区長を囲む会の報告

七月八日、阿戸福祉センターにおいて「区長を囲む会」を開催しました。

安芸区役所からは、喜多川区長をはじめ十七名の出席を頂き、阿戸町からは、阿戸まちづくり推進委員、阿戸町女性会、元気な阿戸っ子応援団、合計三十名が出席しました。

倉本連合町内会長、喜多川区長のあいさつに続いて、安芸区の事業概要について説明があり、そのあと「子育て支援・小中学校問題」について、松田阿戸まちづくり推進委員長から要望いたしました。

要望項目は先に述べた四項目です。

特に、このテーマは地域にとって最重要の問題であり、強力に支援をお願いしました。

これに対し、市役所関係部局への働きかけも含め、努力していく旨の回答がありました。

会議終了後、懇親会があり、区役所職員との意見交換を行い、親交を深めることができました。



ホームページ部会活動

豊田副市長 ホームページ部会を視察



七月一日、広島市豊田副市長、安芸区山本市民部長、担当課長らが毎週水曜日、公民館で行っているホームページ部会を視察されました。

当部会では広島市が進めている「こむねっとひろしま」を使い、積極的にまちづくりに関する情報や身近な地域の情報を伝えているため、これらの実施状況を調査するためのものでした。

まちの歴史、まちの紹介、まちの行事、まちの取り組み・・・など熱心に質問され、部会の取り組みに対し高い評価をいただきました。

今後、部会が広島市のモデルとなるよう、さらに努力をしていきたいと決意を述べると共に、より一層の支援をいただくようお願いいたしました。

連合町内会予算の執行について

阿戸町連合町内会では活力ある住みよいまちづくりを目指し、色々な事業を展開しております。

そのため各世帯から年間八〇〇円を御負担いただき、連合町内会の諸活動の費用に充てています。

平成二十一年を例にとりて予算の執行について少しご説明したいと思います。

二十一年度の予算は町内会分担金、繰越金、寄付金等を含め、約一、〇二四、〇〇〇円です。

この中から青少年健全育成連絡協議会、阿戸学区体育協会、阿戸町女性会、阿戸地区防犯組合他、七団体への助成金が約四〇％(四一〇、〇〇〇円)、まちづくり委員会、町民体育祭への助成金が二七％(二七五、〇〇〇円)と全体の六七％を占めます。

残りが事務費、会議費、旅費、慶弔費、予備費となります。

今後とも無駄な出費を抑え、健全な予算執行に努めていきたいと思っています。

なお、皆様方のご協力を頂いております資源ごみの収益につきましては別会計にて「まちづくり基金」として管理しており、将来のまちづくりの費用に充てたいします。

ちなみに、八月二十日現在の残高は約八七五、〇〇〇円となっております。

